

第 14 回	<p>テーマ：政治制度、法制度からみる比較文化</p> <p>日本とアメリカの政治制度の違い、死刑制度のある国（日本）と死刑制度のない国（欧州）の比較</p>
第 15 回	<p>テーマ：血縁主義・在留外国人をめぐる現在の日本の社会状況、全体のまとめ</p> <p>国籍に関する考え方、外国人労働者に対する施策、本講義全体の総括、試験対策について</p>
テキスト	<p>松永典子編著『学校と子ども、保護者をめぐる多文化・多様性理解ハンドブック 第3版』（金木犀舎、2022 年）※授業の合間に関連するページを読む。</p> <p>毎回の授業ではレジュメを配布する。</p>
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	<p>石井敏、久米昭元、長谷川典子、桜木俊行、石黒武人『はじめて学ぶ異文化コミュニケーション——多文化共生と平和構築に向けて——』（有斐閣選書、2013 年）</p> <p>施光恒『英語化は愚民化——日本の国力が地に落ちる——』（集英社、2015 年）</p> <p>平林信隆『多文化理解と異文化コミュニケーション——多国籍学生チームと共に学んだ理論と実践——』（創成社、2019 年）</p>
課題に対するフィードバックの方法	<p>小テストは採点后、返却する。レポートは返却し、内容によってはコメントをつける。試験は成績発表後に回答例を提示する。</p>
学生へのメッセージ・コメント	<p>受講者には異文化理解に自ら興味を持ってもらうため、一部の授業では学生参加の確証チェックを授業の合間に行う。また TV のニュースや新聞にも日頃から目を通し、政治や社会と言った分野で今どんなことが話題になっているのかに注意しておいてほしい。</p> <p>（注意事項）</p> <p>レポートに関しては基本的なルール（文体の統一、段落のはじめは 1 マス空ける等）の順守を絶対とする。</p> <p>レポート、課題等の提出の締め切りは厳守。「正当な理由のない」期限を過ぎての提出は認められない。</p>

